

## 令和3年度 産業廃棄物税基金充当事業 実績報告書

事業名：コーヒー粕を利用した果樹栽培における土壌改良方法及びマルチングによる雑草等抑制効果の検討  
事業実施期間：令和3年度～令和7年度  
担当課室名：農業振興課（農業・園芸総合研究所）  
担当班名：普及支援班（花き・果樹部果樹チーム）  
TEL：022-211-2837（022-383-8134）  
e-mail：marc-ff@pref.miyagi.lg.jp（農園研）  
URL：

### 1 事業の目的

動植物性残渣のコーヒー粕を用いて、モモ、イチジクの改植において問題となっている連作障害症状抑制のための土壌改良方法を検討する。また、モモ、リンゴ樹冠下にマルチングすることにより、雑草やリンゴ台木からの新梢（ひこばえ）発生抑制効果についても検討する。

### 2 当該年度の実施事業の概要・実績

モモ及びイチジクのポット栽培方法によるコーヒー粕を混合した土壌改良方法の検討とリンゴ及びモモの樹幹下におけるコーヒー粕の地表面マルチング効果の検証を行った。

### 3 当該年度の実施事業の成果

土壌改良方法の検討においては、前年度植栽土壌にコーヒー粕や完熟堆肥を混合し生育に及ぼす影響を調査したところ、モモではコーヒー粕混合区で総新梢長が抑えられ、イチジクでは生育に差は見られなかった。

コーヒー粕をマルチングすることにより、リンゴ及びモモの樹冠下において雑草抑制効果が確認されたが、モモではコーヒー粕影響による樹体の衰弱も見られた。リンゴの台木部分への厚さ30cm程度のコーヒー粕施用においては、ひこばえの伸長抑制が確認でき、リンゴ品質にも影響は見られなかった。

### 4 今後の展開

土壌改良方法の検討については、樹体の切り戻しや施肥を行い、コーヒー粕混合の樹体への影響をさらに検討していく。コーヒー粕の地表面マルチング効果については、果実品質等への影響も含め、経年変化を検討する。

### 5 廃棄物の削減・リサイクル、適正処理の促進の効果等を示す指標の数値

（指標：コーヒー粕のリサイクル量）

単位：トン／年

令和2年度	令和3年度
0	4.3

### 6 事業費の推移

単位：千円

令和3年度
4,753